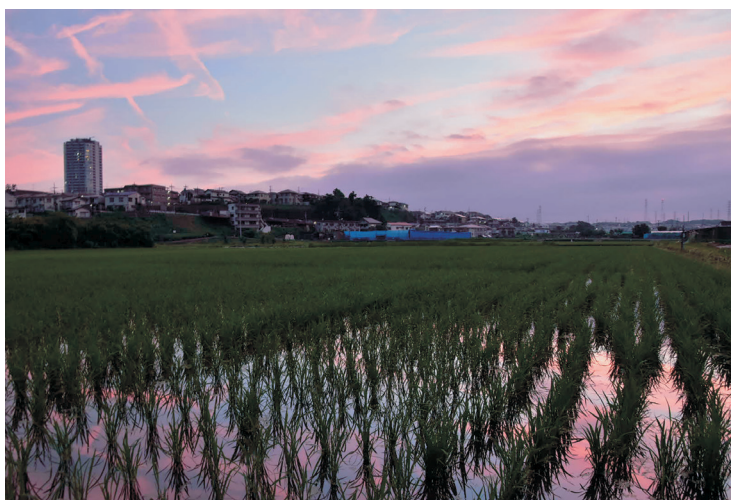




青葉区制25周年記念誌

地域活動の中心となる自治会・町内会の紹介





平成30年度フォトジェニック青葉 フォトコンテスト入賞作品

INDEX

中里地区	1
「住み良い環境と人々の交流を」をモットーに	
中里北部地区	3
地域の歴史をつなぎ、支え合って	
市ケ尾地区	5
4つの単位自治（町内）会の連携を密にして	
上谷本地区	7
上谷本連合町内会の2大行事の紹介	
地域の皆さんを結びつける働き	
谷本地区	9
歴史の重みを感じる谷本地区	
恩田地区	11
住みやすい町、住み続けたい町をめざして	
青葉台地区	13
魅力のある街・青葉台	
奈良町地区	15
「安全・安心の街づくりはまず地域活動から」を合言葉に！	
奈良北団地区	17
すぐ動く！パワフル自治会	
山内地区	19
「山内地区体育レクリエーション大会」先人の培った伝統を未来へ	
荏田地区	21
異世代の交流をはかり「住んでよかった町」をめざす！	
荏田西地区	23
地域の連携を深め「より良い街づくり」に向かって！	
新荏田地区	25
わが町の防犯活動	

ごあいさつ

青葉区が区制25周年を迎えましたことを、区民の皆様と共に心よりお祝い申し上げます。

青葉区は、美しい街並みや豊かな自然とともに、地域活動をはじめ様々な活動が活発に行われている魅力にあふれたまちです。その誕生以前から、先人の方々のご尽力により大きな礎を築いていただき、さらに、この25年間に、地域の皆様のお力で街並みや花・緑を育み、活力あるまちを築いていただきました。

また、昨年4月発表の市区町村別平均寿命では、男性が2度目の全国1位、女性も9位となり、長寿のまちとしても知られています。これは、区民の皆様が日頃から健康づくりに関心を持ち、実践されていることに加え、地域活動をはじめ様々な活動に取り組まれている地域力も長寿を支える要因であると思えます。

その地域力の中核である自治会町内会をはじめとした地域の皆様のご活動について、少しでもご紹介できればと思い、本冊子を作成しました。これからも地域の皆様と力を合わせ、青葉区が「住みつけたい・住みたいまち」と思っていただけよう、取り組んでまいります。

結びに、作成にあたり、ご協力いただきました皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和元年10月
青葉区長 小出 重佳



祝辞

青葉区が区制25周年を迎えましたことを、区民の皆様と共に心よりお慶び申し上げます。

青葉区では、約9万3千世帯の区民が自治会・町内会に加入し、季節に合わせたお祭りや防犯パトロールなど、地域ごとに特色ある様々な活動にご参加いただいています。日頃より、自治会・町内会活動にご理解ご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。

近年は災害が多く、日本各地で集中豪雨や地震などが発生するなか、青葉区連合自治会長会では、平成30年7月の西日本の広範囲にわたる豪雨により被害を受けられた方々を支援するため、災害募金活動を実施しました。皆様からお預かりした募金は、総額5百万円にのぼり、被災者・被災地に寄付いたしました。自治会・町内会に加入する皆様の温かいご支援とご協力を、改めて感謝申し上げます。

災害時には、「顔の見える関係」「協力し合える絆づくり」が一層大切と言われ、自治会・町内会による助け合いの活動も再注目されている状況です。

これからも子どもたちをはじめ全ての世代にとって安心して過ごせるまちになるよう、自治会一体となって地域活動にまい進したいと考えております。

令和元年10月
青葉区連合自治会長会会長 関根 宏一



自治会・町内会とは

自治会・町内会は、地域住民相互の連帯感を育て、地域の福祉・環境・防犯・防災等、さまざまな課題に取り組みながらまちづくりを進めていく住民の自治組織です。現在、横浜市内には2,800を超える自治会・町内会が組織され、地域の発展と会員相互の親睦、地域の安全のため、多くの方が参加して、自主的にいろいろな事業を行っています。

青葉区には163の自治会・町内会があり、うち152団体が、それぞれの「地区連合自治会・町内会」に加入し、広域的な活動や積極的な情報交換等を行っています。また、その連合体として、「青葉区連合自治会長会」が組織されています。

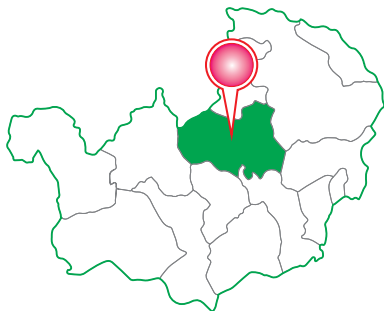
皆様もぜひ、自治会・町内会にご加入ください。



すすき野地区	27
すすき野地区のまちの現状と将来像	
美しが丘地区	29
5つの行事で深まる「地域の絆」	
「安全で安心、住み続けたいまち」づくりをめざして活動しています	
青葉区25年のあゆみ・沿革	31

Profile

中里地区は、青葉区内の中央に位置しています。南部と東部に幹線道路が通っており、地区の東側に住宅を中心とした生活地域が広がっています。盆踊り大会や夏祭り、ドンド焼き、防災訓練等が行われ、子どもから高齢者までの住民が、共に行事に参加することによって住民同士の交流、親睦や住民の輪が発展しています。



Voice

中里連合自治会

「住み良い環境と人々の交流を」をモットーに

中里連合自治会は、鉄町内会・黒須田自治会・大場町一心会・やよいが丘自治会・禅当寺自治会の5団体で構成されています。

歴史や伝統、地理的状况によって活動内容は多少異なりますが、「地域に住み良い環境と人々の交流を」をモットーに、団体の特徴に応じた活動をしています。

夏にはそれぞれ盆踊り大会や夏祭りが盛大に開催されます。秋には、中里連合スポーツ大会を行い、地域住民の親睦と交流、健康づくりに役立っています。また、町内の神社では例大祭も行われ、

「こどもみこし」や地元演芸で盛況です。毎年1月には各地で「ドンド焼き」が開催されています。11月には、黒須田自治会、大場町一心会が、2月には鉄町内会、やよいが丘自治会が、黒須田小学校、鉄小学校地域防災拠点運営委員会の主催する「防災訓練」を行っています。高齢者から小学生まで多世代の住民が行事に参加することによって、住民同士の交流、親睦や住民の輪が発展しています。

中里連合自治会

澁谷 要 会長



光陰矢の如く25年が経ち、横浜市の行政サービスが身近なものになったことを感じる今日この頃です。成熟した社会・経済環境の中、皆の知恵を集め、住みやすく絆の強い青葉区となるよう頑張りましょう。

鉄町内会

黒須田自治会

大場町一心会

やよいが丘自治会

禅当寺自治会

あざみ野白ゆり自治会

みすずが丘自治会

Photo



ドンド焼き



正月の福寄せおどり



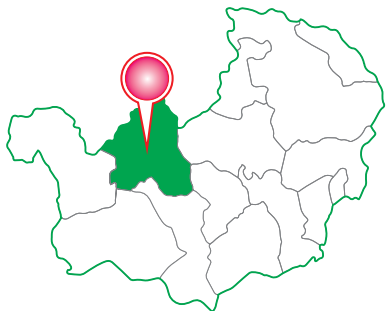
スポーツ大会



鉄神社祭礼

Profile

中里北部地区は、古くからある地域と新しく住宅開発された地域とが混在しています。公園も多く、寺家町周辺は、昔ながらの里山風景などが広がる、緑豊かな地区です。地域の活動には、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が大勢参加し、継続した取組とケアプラザを拠点として、子ども、高齢者、障がい者などを対象とした活動が盛んです。



Voice

中里北連合町内会

地域の歴史をつなぎ、支え合って

中里北部地区は青葉区内の北西に位置し、たちばな台・鴨志田町・成合町・寺家町の4町からなる、ふるさと村の田園風景と住宅地区が混在している地域です。平成30年には、道路への愛称「ふるさと村通り」が認定されました。中里北部連合町内会は、昭和59年4月1日に発足され、令和を迎えた現在、8自治会・町内会の約4千の加入世帯で構成されています。

主な事業は、運動会・スタンプウォークラリー・ふるさとマラソン大会・鶴見川西岸清掃で、それぞれが地域の交流の場となり、輪が広がっていきけるようにと、地域の小学校・中学校・大学そして各種団体・ボランティアの皆様

のご指導・ご協力をいただきながら活動しています。また、スポーツ推進委員・青少年指導員・子ども会が中心となって紙飛行機大会・ドッジボール大会・映画会が開催されています。さらに、地区社会福祉協議会が実施するお花見の会・年2回の日帰りバス旅行、自治会・町内会主催の夏祭り、盆踊り大会などの行事では、多くの方々の参加で盛大に親睦が図られています。

少子高齢化が進み色々な課題を抱えています。地域の先輩方が築いた強い結びつきを大切に、地域住民で助け合い、あたたかく支え合える見守り活動などを充実していきたいと思っています。

中里北部連合町内会

奥田 妙子 会長

25周年、おめでとうございます。区民一人ひとりが、健康で、笑顔あふれる町づくりと輝かしい未来に向けて、一層の発展をお祈り申し上げます。



たちばな台町内会

たちばな台西自治会

鴨志田町内会

鴨志田緑自治会

グリーンヒル鴨志田

東団地自治会

グリーンヒル鴨志田

西団地自治会

横浜市営鴨志田住宅

自治会

寺家町内会

たちばな台ガーデン

ハウス自治会

Photo



ふるさとマラソン大会



ふるさと村通り



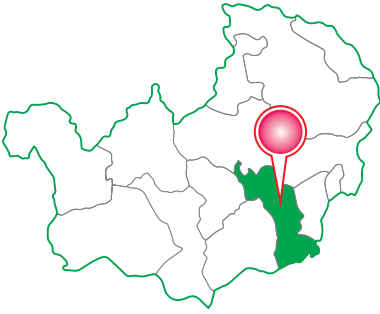
運動会



夏祭り

Profile

市ヶ尾地区は青葉区内の南東に位置し、都筑区に隣接しています。地区の中央には多くの住民が利用する市が尾駅や区役所、警察署、消防署、税務署等があり、青葉区の官庁街としての顔も持っています。また、江戸時代から続く伝統行事が大切に引き継がれていると共に、地域の豊かな自然をいかした「畑に親しむ活動」も盛んな地区です。



Voice

市ヶ尾連合自治会

4つの単位自治(町内)会の連携を密にして

私たちのまち市ヶ尾は、9千世帯にのぼる市民が居住しているまちです。田園都市線の市が尾駅を中心に開発された地域に、上市ヶ尾、中市ヶ尾、下市ヶ尾、そしてプラーザビルの4つの町内(自治)会が組織されて各自治会が活発な活動を展開しています。

特記すべきは、この地区に青葉区総合庁舎、青葉警察署、青葉消防署、緑税務署等々の行政機関が集中し、いわゆる官庁地区の様相を見せていることです。それに加えて、国道246号線、東名インターチェンジ、そして間もなく開通する横浜環状北西線が交差するなど交通の要所のまちになりつつあります。

さて、このように今なお変容しつつあるわがまちではありませんが、前記4つの自治(町内)会はそ

それぞれ地域の味を出して活動しています。例えば上、下市ヶ尾では八雲神社、杉山神社の伝統ある祭礼が今なお引き継がれています。200年もの歴史を持つ地藏堂での「双盤念仏講そうばんねんぶつこう」は、横浜市の無形文化財であり、貴重な伝統行事です。他方、新しいまちづくりに励む中市ヶ尾自治会、市が尾駅前高層住宅のプラーザビル自治会の活動など、それぞれ住みやすいまちづくりをめざして活動中です。また、連合主催の体育祭をはじめ、町内会員の意思疎通を図るさまざまなイベントを開催しています。

これからは安全・安心のため、防犯・防災対策を一層進めます。さらに、ビオラ市ヶ尾ケアプラザと手を結んで、顕著になってきた高齢化への対策を進めるなど、現

状をしっかりと見つめ、まちづくりを進めたいと考えています。

市ヶ尾連合自治会

柏村 茂 会長

25周年、おめでとうございます。もう25年も経ったのか、早いなあ、と感慨深いです。区民を支える最も身近な存在として、各団体や行政と協力し、だれもが住みたくなるまちをめざしていきます。



上市ケ尾町内会
中市ケ尾自治会
下市ケ尾町内会
市ケ尾プラーザビル
自治会

Photo



下市ケ尾国際交流教室



中市ケ尾ウォークラリー



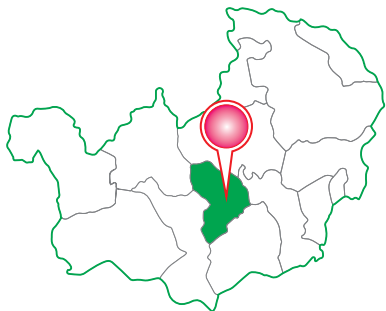
市ケ尾地藏堂



上市ケ尾双盤念仏講（そうばんねんぶつこう）

Profile

上谷本地区は、青葉区内の中央に位置し、地区の中心部から南部にかけて丘陵地帯が広がり、地区北部には河川が作り出した低地部が広がっています。町内会をはじめ多くの関係団体が、互いに協力し合いながら、長年にわたり地域の行事を実施しており、住民交流の機会となっています。また、地域の関係団体が連携した見守り活動を、積極的に進めています。



Voice

上谷本連合町内会

上谷本連合町内会の2大行事の紹介 ～地域の皆さんを結びつける働き～

田園都市線藤が丘駅北口から徒歩圏内に約6千200世帯・約1万4千人が居住する上谷本連合町内会は、柿の木台・もえぎ野・みたけ台というほぼ同じ規模の3町内会で構成されています。地域には、もえぎ野公園・もえぎ野ふれあいの樹林等自然に親しめる散策コースや探鳥ポイントがあります。

前準備委員会と各種委員の代表による実行委員会を組織して運営しています。

この地域で行われる2大行事が、夏の「納涼盆踊り大会」と11月の上谷本地区社会福祉協議会との共催行事「餅つき大会」です。

この運営に参加される経験豊かな皆さんと、新しく参加される皆さんの交流が地域住民同士を結びつける働きをしています。

この地域を通じて世代間の交流を図り、「子どもからお年寄りまでいつまでも住み続けたい町」お互いに見守り支えあう町」をめざしていきます。

一緒にいろいろな作業を経験することが、お互いに知らない間柄の人々を結びつけます。この集団行動の経験は、もえぎ野小学校とみたけ台中学校の2か所の地域防災拠点を活用する災害時の避難活動や誘導活動等に役立つと思います。

この2大行事は、地域の各種委員・町内会役員・子ども会をはじめボランティアにより支えられており、もえぎ野小学校とみたけ台中学校を会場に交互に開催し、スポーツ推進委員・青少年指導員・町内会役員で構成する事

上谷本連合町内会 杉浦 一夫 会長

青葉区も高齢化が進んでいます。上谷本地区では、社会福祉協議会や民生委員など各団体・委員と協力し、見守り活動や3世代交流のできる行事を通じて、誰もが安心して住み続けられる街をめざしていきます。



みたけ台町内会

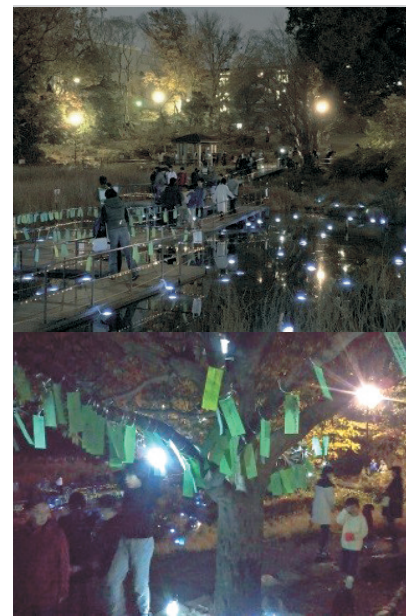
柿の木台町内会

もえぎ野町内会

Photo



夏祭り



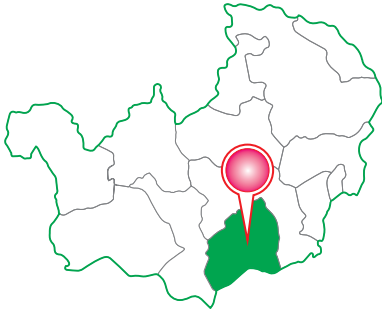
もえぎ野公園イルミネーション



運動会

Profile

谷本地区は、エリアの北部に田園都市線と国道246号線が東西に走り、東名高速道路「横浜青葉インター」があるなど、主要な交通手段が身近に存在しています。地区東側の鶴見川（谷本川）周辺を除き、地区の大部分は昭和40年代に造成され、梅が丘は戸建て住宅が建ち並び、千草台は戸建て住宅とマンションの他、高齢者施設等も多く存在しています。藤が丘一丁目、二丁目は「藤が丘駅」周辺に商業施設やマンションが集まっており、昭和大学の藤が丘病院とリハビリテーション病院があります。



Voice

谷本連合自治会

歴史の重みを感じる谷本地区

歴史的には旧中里地区全域の農村地帯として中里・市ケ尾・谷本を含む広範囲なひとつの町内会でしたが、35年前に5つの連合自治会として地区の再編を行いました。現在に至っています。このような経緯を経た谷本連合自治会は、開校145周年を迎えた谷本小学校と藤が丘小学校・つつじが丘小学校の校区を持っています。そして藤が丘一丁目、二丁目A・B、千草台、梅が丘と、青葉区南端地区5つの自治会で構成された加入世帯数約8千600世帯、人口約1万2千人の規模で活動しています。旧来からの自治会と新興住宅地としての自治会が相半ばあいなかし、バランスのとれた地域行事を行っています。

連合自治会の役員会は月1回行っていますが、その参加メンバーの特徴は、自治会長と部門代表者に加えて、地区社会福祉協議会の会長・消防団の班長も役員会に加わることです。このことよって意思疎通が円滑になり、行事などの決定も早くできるようになっていきます。役員会で共有した情報をもとに単位自治会の会議や部門の会議を行うようにしています。

谷本連合自治会では、映画会・藤が丘駅一帯のクリーン作戦・青色パトロールカーと徒歩による防犯パトロールの実施、子ども主体のスポーツ大会やドッジボール大会等々を開催しています。また、要援護者支え合いカードの回収率が高く、福祉の充実にも力をいれています。今後も地域の発展と安全、地域福祉に寄与する活動を続けていく所存です。

谷本連合自治会

飯田 敬 会長

谷本地区は、連合自治会主催の体育祭や各自治会で夏祭りを行うなど、バランスを重視した活動を行っています。2020年には横浜環状北西線が開通するので、歴史を重んじつつ新たな開発との相乗効果を図ります。



藤が丘一丁目町内会
藤が丘二丁目A自治会
藤が丘二丁目B自治会
千草台自治会
梅が丘自治会

Photo



夏祭り



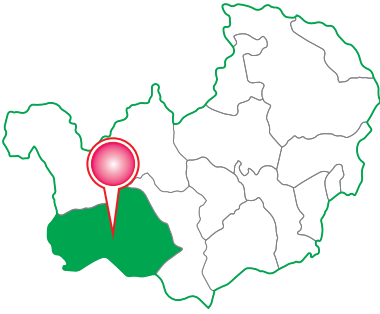
まちあるき減災マップの作成



運動会

Profile

恩田地区は青葉区内の南西部に位置し、豊かな緑、丘陵、田園風景などが広がっています。自治会、民生委員児童委員協議会、子供会等、関係団体が協力して、誰もが「安全・安心」に暮らせる地域、住みよい地域と実感できるよう、さまざまな活動を活発に行っています。平成24年に開所した恩田地域ケアプラザが地域福祉の拠点となっています。



Voice

恩田連合自治会

住みやすい町、住み続けたい町をめざして

恩田連合自治会では、毎年秋にウォーキングイベントを実施しています。恩田地区の史跡をめぐる、もつと自分たちの住む地域を知り、親しみを持つてもらうため、平成29年度から始まりました。平成30年度は、地域住民の健康増進を目的として、日本体育大学の協力のもと、広大なキャンパス内を散策し、同大学のスポーツセンタースタッフによるストレッチ講習会も実施しました。毎回100名程度の参加者があり、活気に満ちた一日となっています。

このほかにも、防犯防災と交通安全に注力し、防犯パトロール講習会、恩田地区がけ地対策講演会、交通安全講習会(スタントマンによる実技あり)、横

浜市防災センター見学などさまざまな企画を行っています。

また、恩田地区内5つの小学校の児童、生徒から交通安全ポスターを募集し、連合自治会及び関連団体の協力で作品の審査を行い、優秀作品を表彰しています。すべての応募作品は、青葉区役所1階に一定期間掲示され、優秀作品は1枚のポスターにまとめ、各単位自治会の掲示板に掲示します。

このように、恩田連合自治会では、幅広い世代の住民が参加しやすいよう、趣向を凝らした企画を立案、運営し、参加した住民に恩田地区の魅力を伝え、住みやすい町、ずっと住みたい町と感じてもらえるよう努めていきます。



恩田連合自治会

久保田 実 会長

25周年を経て、街の新旧住民が交流し、活発になってきたかな、という印象です。今後は、恩田地域ならではの特色を生かした事業やまちづくりを行うなかで、若い人がしっかり育つ街づくりをしていきたいです。

あかね台一丁目自治会
 あかね台二丁目自治会
 堀之内自治会
 井戸久保自治会
 内田自治会
 中恩田自治会
 西谷戸自治会
 馬場自治会
 大谷戸自治会
 東村自治会
 榎が丘西第一自治会
 榎が丘西第二自治会
 榎が丘住宅自治会
 青葉台公務員住宅自治会
 NTT榎が丘自治会
 松風台第一自治会
 松風台第二自治会
 松風台第三自治会
 松風台第四自治会
 桂台一丁目自治会
 桂台二丁目自治会
 桂台二丁目中自治会
 グランフォルム青葉台自治会

Photo



健康ウォーキング日体大



区民交流センターまつり



内田地区がけ地対策ディスカッション

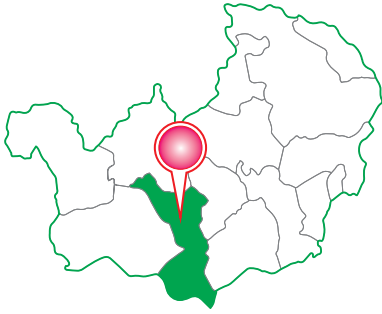


ドンド焼き



夏祭り

Profile



青葉台地区は、青葉区内の南部に位置し、町名に樹木の名前が多く使われている閑静な住宅街と、青葉台駅を中心とした活気ある商業地区で構成されています。地区内には2つの地域ケアプラザをはじめ、高齢者、障がい者、子ども等に関する福祉施設が多いことも特徴の1つです。連合自治会を中心に、商店会や各種団体・学校・企業等と連携した活動が活発で、住民同士の交流も盛んに行われています。

Voice

青葉台連合自治会

魅力のある街・青葉台

青葉台は横浜市内で最も「住みたい街・長生きできる街」と言われています。田園都市線の青葉台駅が開業して50年以上が過ぎ、青葉台駅を中心に環状4号線に沿って南北につながる青葉台連合自治会は昭和63年、旧恩田連合自治会から発展的に独立発足しました。

青葉台連合自治会エリアでは昭和50年代から、地域の環境浄化活動を継続しています。1月と8月を除く年10回、第2火曜日の午後3時に青葉台駅前交番前に集合します。連合自治会の防犯部・交通部・環境部が中心となり、商店会・小中学校のPTA・東急・区役所・警察・消防などの皆さんが毎回

100名以上参加し、防犯・環境パトロールや清掃活動を実施しています。また2017年横浜市の

全国都市緑化よこはまフェアに合わせ、青葉区で開催した「フラワーネックレス青葉2017」を、青葉台連合自治会では「フラワーチェーン」として継続。今年は10月26日(土)、環状4号線沿いに花を植えるイベントを予定しています。

このほかにも青葉台連合自治会では、7〜8月に各地区で夏祭りや納涼大会、10月の連合自治会ふれあい運動会、12月の焼いも大会など、住民同士の顔の見える地域活動を通じて、魅力ある街づくりに努めています。

青葉台連合自治会

山川 英子 会長



平成3年より自治会長になり、14年より連合自治会長になりましたが、この間に分区され、高速道路の開通前に足を踏み入れるなど、区の発展を間近で見してきました。環境浄化活動を続けながらも、新たなイベント青葉台マルシェをスタートするなど、一体感を重視した活動を行っています。

若草台自治会
 桜台雨堤自治会
 桜台成合自治会
 桜台団地自治会
 桜台東自治会
 桜台西自治会
 桜台ビレジ自治会
 青葉台一丁目自治会
 青葉台団地自治会
 田園青葉台住宅自治会
 ライオンズマンション青葉台自治会
 菱興青葉台第二マンション自治会
 青葉台二丁目自治会
 しらとり台自治会
 つつじが丘自治会
 さつきが丘東自治会
 さつきが丘自治会
 桜台南自治会
 榎が丘東自治会
 えのき自治会
 ドルフ青葉台自治会
 コスモ青葉台
 コートフォルム自治会
 コスモ青葉台シエル・
 ヴェール吉番館自治会
 コスモ青葉台シエル・
 ヴェール式番館自治会
 コスモ青葉台イーストヒルズ自治会
 フォンテーヌブロー青葉台自治会

Photo



環境浄化活動



地域清掃を手伝う子ども



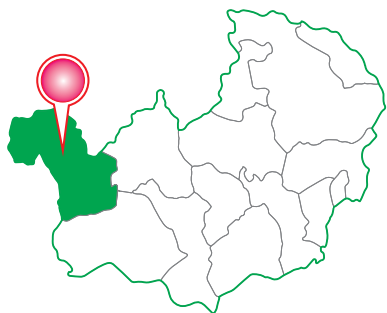
夏祭り



運動会

Profile

奈良町地区は青葉区内の西に位置し、町田市と隣接しています。地形の起伏が多く、区内でも有数の緑が多い自然豊かな地域です。住民の交流を通して地域の絆を深めるため、また、子どもたちの故郷づくりへの取組として、夏祭りや盆踊り大会、秋祭り等、地域のイベントが活発に行われ、地域の活性化に寄与しています。地区内には、こどもの国やTBS緑山スタジオという、全国に誇れる大きな施設を有しています。また、近隣を含め高等学校、3つの大学など学校施設も多く、学園地域としての一面も持っています。



Voice

奈良町連合自治会

「安全・安心の街づくりはまず地域活動から」を合言葉に！

奈良町連合自治会では毎月27日の午後1時～4時の間、青葉警察署の協力の下、こどもの国駅前に移動交番を設置し、防犯相談と地域の防犯パトロールを実施しています。

この活動は平成19年8月27日に単位自治会で始めましたが、平成20年4月から連合自治会の地域活動として正式にスタートしました。今では各自治会長・各小中学校のPTA校外委員・子ども会・老人会等が参加し、駅前でのチラシ配布、地域全域のパトロール、戸別チラシ配布を行っています。

この活動を重ねることに、参加者も増え活発化しています。「安全・安心の街づくりはまず地域活動から」を合言葉にこの活動を定着・拡大させていき

たいと思っています。

このほか、恒例行事として夏季・冬季のこどもの国無料開放、ソフトボール、ソフトバレ、ドッジボール、世代間交流グラウンドゴルフ等の体育行事や高齢者を対象としたバスハイクと食事会、奈良でチャチャ（お茶会）、夏には各自治会の納涼大会があります。また、福祉団体行事への積極的な協力など、連合自治会・地区社会福祉協議会・スポーツ推進委員・青少年指導員・J A女性部等が互いに協力して活動しています。

奈良町連合自治会はこのような地域住民の顔が見える地域活動を通じ、全ての世代が安心して生活ができる活力ある街、愛し誇れる街のため、より

良い街づくりに今後もまい進したいと考えています。

奈良町連合自治会 関根 宏一 会長

港北、緑、青葉区と変遷し、現在18区で2番目に大きい区です。青葉区が全ての世代にとって住みやすく、希望をもって生活できる街、地域になるよう私たちも取り組んでいきます。



奈良一丁目自治会
 奈良二丁目自治会
 奈良三丁目自治会
 奈良四丁目自治会
 奈良五丁目自治会
 北ヶ谷自治会
 小田急学園奈良自治会
 杉山自治会
 奈良上自治会
 玉川学園台自治会
 モアクレスト玉川学園
 自治会
 宮ヶ谷自治会
 すみよし台自治会
 南すみよし台自治会
 あおば山の手台グラ
 ン・ジャルダン自治会
 ルクサージュあおば
 山の手台自治会

Photo



地域で一丸パトロール



体育行事



夏祭り



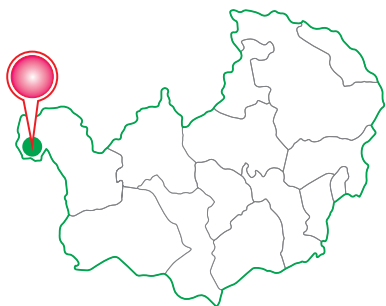
グラウンドゴルフ大会



さくら祭り

Profile

奈良北団地地区は青葉区内の北西にあり、1971年に入居開始したUR都市機構の賃貸住宅(約1千600戸)です。連合自治会などを中心に、サロン、バザー等、長く続いている交流活動がたくさんあります。現在は、子ども達が巣立ち、高齢者の割合が高くなっているほか、新しく転入する人も多くなっています。これからもお互い助けあい、安心して住める団地となるよう、あいさつや声かけを積極的に進めています。



Voice

奈良北団地連合自治会

すぐ動く！ パワフル自治会

奈良北団地連合自治会の特長は、「高齢パワー」と若者パワーが発揮できる」「やりたいと思ったことが、すぐできる」ことだと思っています。

自治会の年間行事は、奈良北地区夏祭り、ビアパーティー、奈良北こどもものなつまつり、ならき祭、防災訓練、など多数あります。夏祭りは小田急学園奈良自治会と共催で行い、若者から熟年層まで協力し合い、やぐらの組立てから運営まで各年代のパワーがバランスよく発揮されています。このような行事を通して、「自分たちの地域」という太い柱が

できています。

こうして団地という誰でも入ってこられる環境でも、日ごろから住民同士のコミュニケーションが深まり、お互いに顔を知り、声を掛け合って安全・安心な生活環境がつくれ、保つていくことができていると思います。

これから高齢者がさらに増え、きめ細やかな支援が重要になります。この点も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

奈良北団地連合自治会

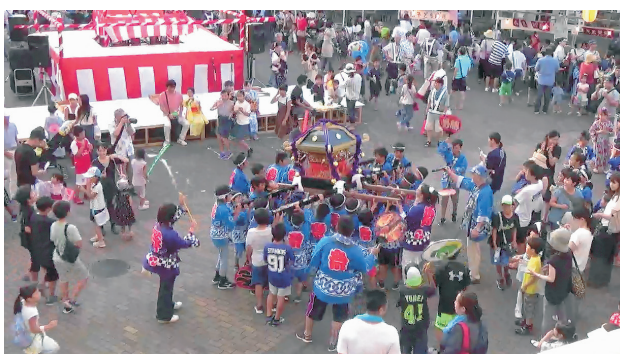
内田 清高 会長

青葉区に住んで50年になります。奈良北団地は横浜でも端の地区ですが、昔に比べ大変便利になりました。今後も青葉区がますます暮らしやすい街になり、発展していくことを願っています。



奈良北団地第一自治会
奈良北団地第一自治会

Photo



夏祭りみこし



夏祭り山車



防災訓練

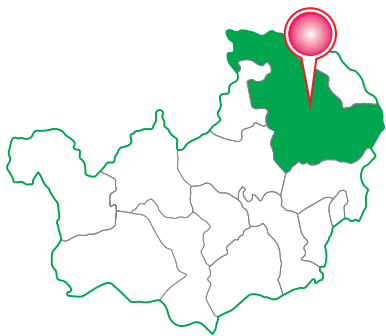


ならきた祭



Profile

山内地区は、青葉区内の東北部に位置しており、区内で最も広大なエリアを占める地区です。早淵川流域の両岸を中心に、歴史と文化を継承しながら発展してきました。お祭りなどの伝統行事を大切にし、これらの行事を通して、住民同士のつながりづくりを力を入れています。各自治会の子どもから高齢者までが集う「山内地区体育レクリエーション大会」は地域の代表的なイベントとなっているほか、多くの住民が地区活動に参加するなど、活発に展開しています。



Voice

山内連合自治会

「山内地区体育レクリエーション大会」

～先人の培った伝統を未来へ～

当地区は、昭和14年に横浜市に編入する前の都筑郡山内村と言われた時代から、青年団が郡大会で優勝するなど、陸上競技、バレーボール・バスケットボール等の球技をはじめとするスポーツが盛んな地域でありました。

この先人の築いた「スポーツ村」の伝統を今に引き継いでいるのが、地域ぐるみのスポーツ活動の推進を目的に、昭和52年に設立された「山内地区スポーツ活動推進協議会」で、自治会、

スポーツ推進委員、青少年指導員が中心となり、他の関係団体の協力を得ながら、各種スポーツ活動を展開しています。

その種目は、ソフトバレーボール・グラウンドゴルフ・ソフボール・ドッジボール等ですが、なんとと言っても圧巻なの

は、毎年10月中旬開催の「山内地区体育レクリエーション大会」です。今年は数えて第49回となる伝統行事です。山内連合自治会加盟の12自治会の幼児から高齢者までが集い、それぞれに見合った種目に参加し、賞品を手合に、各自治会が用意したお弁当と共に、秋の一日を楽しみ、親睦を深めます。

ファイナレは、予選を勝ち進んだ6自治会で競う年代別男女混合の千メートルリレーですが、応援合戦で会場全体が興奮のるつぼと化します。

山内連合自治会の加入世帯数は1万8千世帯余、区域も広く、青葉区1のマンモス自治会ですが、老若男女が一堂に会してのイベントはこれ1つです。

これからも、先人の培った伝

統を未来に伝え、地区住民相互の親睦を図り、健康増進に努めていきます。

山内連合自治会

工藤 明 会長

青葉区誕生25年、分区当時からは、どんどん街が発展し、新しく住む人も増えました。従前より住んでいる人との交流のなかで、地域のつながりを重視しながら、連帯感のある連合自治会をめざしていきたいです。



美しが丘西保木自治会
 元石川平川自治会
 荻子田自治会
 元石川船頭自治会
 新石川中村自治会
 新石川下谷自治会
 美しが丘四丁目南自治会
 美しが丘四丁目北自治会
 美しが丘五丁目北自治会
 美しが丘五丁目牛込自治会
 あざみ野東自治会
 あざみ野自治会
 あざみ野三丁目自治会
 あざみ野団地自治会
 元石川町愛郷自治会
 イディオスあざみ野自治会
 ドレッセあざみ野
 エスタフレンテ自治会

Photo



あざみ野まつり



体育レクリエーション大会



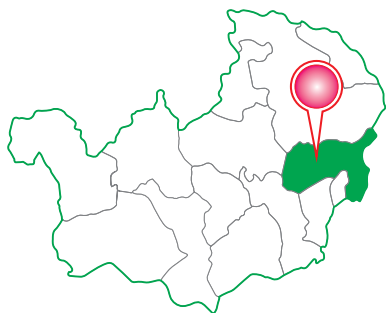
驚神社、十社宮、平川神社、八幡神社、表御嶽社、裏御嶽社、神明社祭礼



保木十社宮の満開の桜

Profile

荇田地区は、青葉区内の東に位置し、都筑区に隣接しています。古くは、大山街道の宿場町として発展しました。地区内には、田園都市線の江田駅があるほか、東名高速道路、国道246号線、旧大山街道などの交通の大動脈が通っています。地域の活動団体が連携して、活発に地域行事を行っています。



Voice

荇田連合自治会

異世代の交流をはかり「住んでよかった町」をめざす！

荇田連合自治会は荇田町の一部、荇田北、あざみ野南地区で8自治会の約5千200世帯で構成されています。

特に大きな取組は「夏祭り納涼大会」で、3年前から会場をかたらい宿公園から広い赤田西遊水池に移し、連合自治会の一大イベントとして開催しています。内容としては、地域各種団体、地元商店会による模擬店、近隣の小学校・中学校による吹奏楽等の披露、地域団体によるよさこいソーラン等の披露、また長年続いている盆踊りなどがあります。そして昨年度より取り入れた花火は、夏祭りのフィナーレを飾るにふさわ

しく、40メートルのナイヤガラは特に見ものです。このようなイベントにより世代を超えての交流をはかり、「住んでよかった町」をめざしています。

また、地域福祉保健計画で「子どもから高齢者までスポーツ等をとおして、健康づくりに取り組むまちにしよう」と目標を掲げています。ウォーキングや、夏休みに子どもから高齢者を交えてのラジオ体操を開催し、地域交流を積極的に進めています。

赤田東公園内に今年5月に開所した荇田コミュニティハウスを、今後の地域コミュニティの場として活用していきます。

荇田連合自治会

松澤 孝郎 会長

旧大山街道荇田宿のあった荇田町は、街道の賑わいとともに発展してきました。現在は、田園都市線の沿線開発により発展を遂げています。自治会をはじめ地域一体となって安全安心な街づくりをめざします。



小黒自治会

宿自治会

柚木自治会

江田ビレッジ自治会

荇田北二丁目自治会

ダイアパレスあざみ野
自治会

アルスあざみ野自治会

あざみ野南四丁目自治会

Photo



荇田ウォーキング



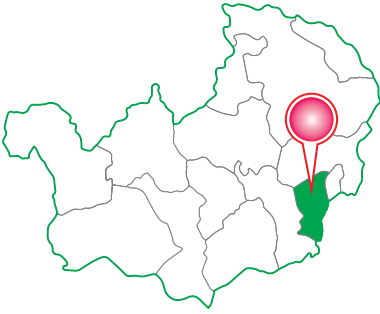
連合夏祭り



荇田コミュニティハウス

Profile

青葉区内の東部に位置する閑静な住宅地で、田園都市線、国道246号線、東名高速道路が地域の北部を通っています。地域内には保育園などの福祉施設が多く、また、青葉区の中でも、年少人口割合が高い地域であることが特徴です。地域の取組では、連合自治会主催の「ふるさとまつり」や、ボランティア「えだにし学援隊」による登下校の見守り活動・あいさつ運動などがあり、住民同士の交流が活発に行われています。



Voice

荏田西連合自治会

地域の連携を深め「より良い街づくり」に向かって！

荏田西連合自治会は荏田西地区の7つの自治会（加入世帯数：約3千世帯）（平成31年4月時点）で構成し、平成20年5月に設立しました。その主な活動として、連合自治会ができる前から行ってきた「荏田西ふるさとまつり」を中心に防犯、防災、福祉、文化活動等を通して「安全・安心な住み良い街づくり」を単位自治会・町内会が協力してめざしています。

ここでは、主な行事である「荏田西ふるさとまつり」を紹介します。このお祭りは、この地域が新しい街であり、子どもたちへのふるさとの思い出づくりを出発点として、荏田西小

学校の校庭で屋台（物販・食べ物）、舞台（演芸・音楽）、福引等、各種地域活動団体、荏田西小学校、市ケ尾中学校の協力を得て開催してきました。この地域の協力によって当初の目的を達成したばかりではなく、地域住民のコミュニケーションの場となり、小学校卒業生の集いの場となっています。

特に、最近感じていることは、「より良い街づくり」の取組として、「向こう三軒両隣」の関係を築くことだと考えています。

荏田西連合自治会

鳥屋尾 彰 会長

25周年おめでとうございます。この節目を迎えるときに、私は、大会ボランティアとして東京オリンピック・パラリンピック2020に関わることになりました。ボランティアを楽しみつつ、海外からの人々を受け入れながらホスト意識を高めたいと思っています。

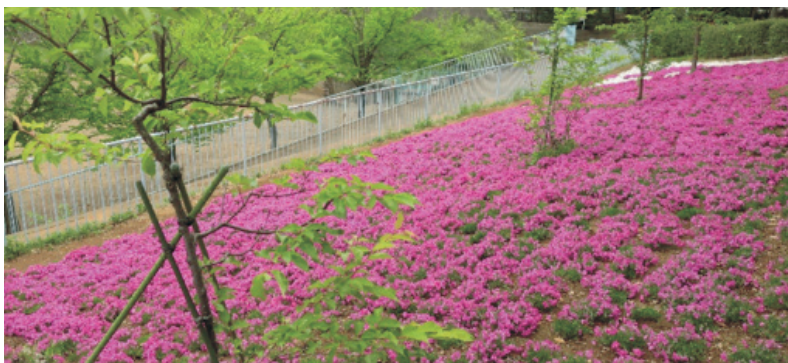


荇田西一丁目自治会
 荇田西二丁目自治会
 荇田西三丁目町内会
 荇田西四丁目自治会
 荇田西五丁目自治会
 ビアス市が尾自治会
 郵船市が尾フラット
 自治会

Photo



荇田西ふるさとまつり



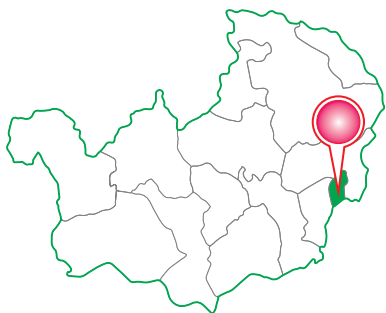
泉田向公園の芝桜



泉田向公園の白の芝桜

Profile

新荏田地区は、青葉区内の東部に位置し、地区全体が平坦な丘陵部によって構成されています。昭和40年代に宅地開発され、その後自治会を組織し、自治会館を建設しました。この拠点を中心に、新荏田連合自治会や各団体がさまざまな行事を推進しています。高齢化が進む中、近所のつながりをより深められるよう、地域の交流を大切に行っています。子どもたちのためのふるさとづくりに向けて、異世代交流を進めながら、防犯・防災から小さな助けあいまで、各団体が協力したまちづくりを実践しています。



Voice

新荏田連合自治会

わが町の防犯活動

新荏田連合自治会では平成15年から防犯パトロールを開始して、今年で16年目になります。現在は

130人のメンバーが5人編成を組んで3か所に分かれ、スピーカーで啓発活動をしながらの隅々まで毎日パトロールを行って行っています。また、10人のメンバーが、青色回転灯をつけた車で、スピーカー放送しながら毎日活動しています。

さらに、毎月27日の「交番の日」には、20〜30人のメンバーが警察官と一緒に巡回パトロールしています。

荏田小学校の見守りパトロールも13年目になりました。子どもたちの下校

時に合わせ「おかえり、気をつけてね」と声かけをしています。

そのほか広報活動も積極的にを行い、毎月の広報誌で犯罪状況や警察情報等を回覧して各家庭に注意喚起を行っています。

このような防犯活動により、犯罪件数を大幅に減らすことができました。

これからも「安全・安心の町」新荏田をめざし、地域住民が丸となって防犯活動に取り組んでいきたいと思っています。

新荏田連合自治会

小泉 幸夫 会長

新荏田地区は昔、家が一軒もなく、田園都市の開発に伴い、造成して住宅地になった地域です。新荏田連合自治会として、防犯活動や通学の見守り活動(約120人体制)から安全安心なまちづくりを進めています。



新荏田第一自治会
新荏田第二自治会
新荏田第三自治会

Photo



防犯パトロール



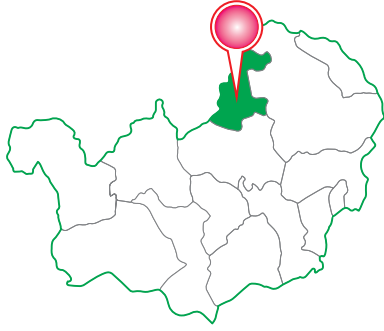
夏祭り



運動会

Profile

すすき野地区は、青葉区内の北部に位置し、地区中心部には河川が流れ、その両側には丘陵地帯が広がっています。集合住宅と戸建て住宅が混在しており、地区の最寄り駅のあざみ野駅、たまプラーザ駅までは、バスが頻繁に運行しています。高齢者の割合が区内でも比較的高い地区ですが、自治会町内会、各団体での高齢者サロンをはじめ活発な活動が進んでいます。



Voice

すすき野連合自治会

すすき野地区のまちの現状と将来像

すすき野地区は、昭和48年から鉄町、黒須田町、元石川町の一部で開発が行われて誕生し、約50年になります。現在は、暮らしに必要な商店、病院、福祉施設等が充実し、公園広場も多い環境に恵まれた場所です。また、災害に強い街として、住民の満足度も非常に高い地域です。しかし、少子高齢化が進むことで、将来の街としては、衰退が危惧され、変貌を余儀なくされています。

昭和49年にすすき野団地群が完成し、多くの若い人が移り住み、翌年にはすすき野小学校が設立されました。以降も住宅開発が進み、小学校1校ではまかないきり、5年後には分校として嶮山小学校も設立される状況でした。しかし今は、開発と同時に開校したすすき野小学校も、少子化に

伴い児童数が減少、令和2年3月をもって閉校になります。

これからは将来を見据えたまちづくりが重要な課題となってきました。将来のまちづくりに期待する事項として、「横浜地下鉄3号線 あざみ野〜新百合ヶ丘延伸計画」があります。

延伸計画に伴い、すすき野地域に新駅を設ける計画が織り込まれ、今後10年計画で進められていくことは、地域において大きな変化と考えるべきでしょう。

新駅周辺を中心としたまちづくりが、少子高齢化の歯止めになるよう、現在の状況を十分に踏まえた開発計画が望まれます。

若い人を呼び寄せる環境づくり、また、高齢者福祉の面でも、現状に満足するのではなく、もっと高齢者の「住みやすい・暮らしやすい」まちになることを期待します。

すすき野連合自治会

依藤 守男 会長

区制25周年おめでとうございます。緑区～青葉区「すすき野地区」も開発され50年を迎えます。新しいまちづくりが行われ、より「安心・安全なまち」になることを住民一同期待しています。



「しやすい」まちになることを期待します。

嶮山自治会

すすき野自治会

すすき野町内会

すすき野北自治会

すすき野第二団地
自治会

すすき野第三団地
自治会

もみの木台自治会

すすき野南自治会

すすき野中央自治会

すすき野団地みどり
自治会

Photo



すすき野小学校



すすき野団地



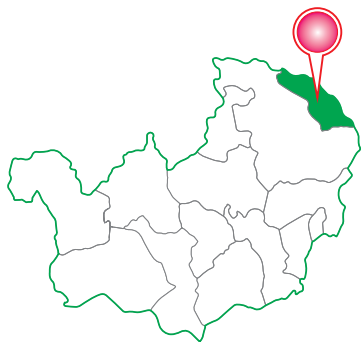
黒須田川



夏祭り

Profile

美しが丘地区は青葉区内の北東部に位置し、たまプラーザ駅を中心に全域が東急によって開発された多摩田園都市となっています。開発当初から、住民はまちづくりに関わり、積極的に関わってきました。遊歩道や街路樹、公園などの地域資源を生かし、緑豊かで、誰もが住み心地の良い安全な地域をめざしています。学校や3つの商店会と連携して、さまざまな取組を進めているのも特徴です。また、子どもたちの成長を温かく見守り、「このまちがふるさとと言えるように」と、盆踊り大会等、地域活動に取り組んでいます。



Voice

美しが丘連合自治会

5つの行事で深まる「地域の絆」

「安全で安心、住み続けたいまち」づくりをめざして活動しています。

美しが丘連合自治会は、美しが丘一〜三丁目の23自治会、約5千世帯の連合組織で、5つの地域行事を主催しています。

4月の「桜まつり」と7月の「美しが丘盆踊り大会」。それぞれ2日間にわたる、これらの親睦行事には近隣からも多くの来場者があり、地域からの出店やステージの出演で大変賑わいます。

10月には、美しが丘・みんなで防災を考える日と題して「防災のつどい」を行います。会場は地区内の3校防災拠点の持ち回りとし、毎年さまざまなテーマで開催します。

平成18年の第1回は「地域の絆が防災につながる」。そのほか「トイレのなくなる日」「あなたの防災拠点を知っていますか?」「中学生も地域防災の担い手」「安否確認と避難」その時自治会、防災拠点の役割は」など。

11月には、「美しが丘公園落ち葉清掃」。自治会他に公園の利用団体の協力も得て、200名を超える参加者で清掃します。清掃後は落ち葉焚きの焼き芋やPTAの協力ですいとん入り豚汁をいただきます。そして

12月には「年末防犯パトロール」。「自分のまちは自分で守る」を合言葉に地区全域をパトロールします。終了後は同様に温かいミネストローネをいただきます。

さらに平成29年度からは、地区内にできたウォーキング・コースを活用した美しが丘健康ウォーキングも始めました。

各行事にはそれぞれの目的がありますが、連合自治会としては、行事への参加を通して、単位自治会、住民同士が交流し、地域の絆がより深まることを何よりもめざしています。

このほかに、当地区は平成24年から横浜市と東急が進める「次世代郊

美しが丘連合自治会 辺見 真智子 会長

青葉区となって25年、少子高齢化が進み自治会活動もさまざまな問題に直面しています。安全と共助、多世代が住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。



外まちづくり」のモデル地区として、住民による多彩な活動があり、連合自治会でも協力、応援をしています。

美しが丘ルピナス自治会
 ブランズ美しが丘二丁目自治会
 美しが丘一丁目南自治会
 美しが丘一丁目北自治会
 日本生命社宅自治会
 美しが丘東自治会
 美しが丘郵政自治会
 美しが丘公務員住宅自治会
 美しが丘中部自治会
 美しが丘西部自治会
 たまプラーザ住宅一街区自治会
 たまプラーザ住宅二街区自治会
 たまプラーザ住宅三街区自治会
 たまプラーザ住宅四街区自治会
 たまプラーザ住宅五街区自治会
 たまプラーザ住宅六街区自治会
 たまプラーザ住宅七街区自治会
 美しが丘ドエリング自治会
 たまプラーザガーデンハウス自治会
 プレシヤスヒルズたまプラーザ自治会
 上杉ビル第一自治会
 美しが丘二丁目中央町内会
 シーアイマンション
 たまプラーザ自治会

Photo



公園落ち葉清掃



防災訓練



「地域の安全・安心を考える！」



夏祭り



青葉区25年のあゆみ

青葉区は平成6年11月6日に行政区再編を経て、港北区と緑区の一部から誕生しました。「丘の横浜」と呼ばれるとおり、丘陵が多く、また、区の中央部を鶴見川が流れており、これらの川に沿って田園風景が広がる緑豊かな景観が青葉区の特徴です。

現在の区域は、弥生時代の朝光寺原遺跡や古墳時代の稲荷前古墳、市ヶ尾横穴古墳群などさまざまな遺跡が点在し、歴史の古さを物語っています。

江戸時代には、東海道の脇往還として大山街道の通った荏田周辺はにぎわいを見せましたが、昭和30年代後半の高度成長期を迎えるまで、その周辺は静かな農村地帯でした。

昭和41年の田園都市線の開通を機に、急激な人口増加が始まり、昭和44年には緑区

が誕生しましたが、当時の青葉区域の人口は5万人程度でした。

その後も、大規模な宅地開発が進み、昭和61年には緑区役所北支部が開設され、平成6年11月6日に青葉区が誕生しました。

平成10年には東名高速道路「横浜青葉インターチェンジ」が開通し、平成19年には人口が30万人に達し、面積、人口ともに市内第2位の規模の大きな区に発展しました。

さらに昨年の国の発表では、男性の平均寿命が2度目の全国1位になり、老若男女が健康で生き生きと暮らす青葉区のイメージが発信されました。

また令和2年には、横浜環状北西線が開通し、横浜都心部、新横浜副都心部への交通アクセスが向上する予定です。

青葉区マスコット 「なしかちゃん」 25周年ロゴマーク



青葉区マスコット「なしかちゃん」は平成21年4月、青葉区制15周年を記念して、区内の子どもたちから寄せられた1,777作品の中の優れた3作品から区民の皆様の投票により選ばれました。

デザインは、当時の小学生が、青葉区の花「ナシ」をイメージして描いてくれました。手と足は青葉区のかなみどりを表しています。

上記のロゴマークは、25周年記念特別仕様のものです。

沿革

昭和	14年	4月	第6次市域拡張により、都筑郡の一部、田奈村、中里村、山内村の3村が横浜市に編入(当時港北区の一部に)
	39年	8月	東京沼津線(国道246号)開通
	40年	5月	こどもの国開園
	41年	4月	田園都市線(溝の口~長津田)開通
	42年	4月	こどもの国線開通
	43年	4月	東名高速道路(東京~厚木)開通
	44年	10月	緑区制施行(港北区から分区)
	47年	4月	青葉台に「青少年図書館」開館
	52年	4月	「山内地区センター・山内図書館」開館
		7月	山内支所誕生(出張所から支所に)
	57年	7月	「くろがね青少年野外活動センター」開設
	59年	4月	田園都市線(つきみ野~中央林間)開通
		12月	緑保健所北部出張所開設
	61年	11月	緑区役所北部支所開設(人口224,012人、79,755世帯でスタート)
	62年	11月	「寺家ふるさと村四季の家」開館
	63年	4月	緑北警察署開設(市ヶ尾町)・(平成6年11月青葉警察署に名称変更)
平成	元年	5月	みたけ台に「児童野外活動センター(こどもの杜)」開設
		10月	あざみ野駅行政サービスコーナー開設
		11月	「藤が丘地区センター」開館、 「国際交流ラウンジ」開設
		12月	緑税務署新庁舎完成(市ヶ尾町)
	3年	7月	「市ヶ尾彫刻のプロムナード」完成(翌年、建設省(現:国土交通省)「手づくり郷土賞」受賞)
	4年	3月	「若草台地区センター」開館
		4月	「水道局緑北営業所」開業
		6月	「障害者地域活動ホーム(えだ福祉ホーム)」開設 「荏田地域ケアプラザ」開設
		12月	「横浜市港北区及び緑区の再編成に関する条例」の制定(新しい4区の区域の確定)
	5年	3月	横浜市営地下鉄、あざみ野駅まで延伸
		4月	「区民文化センター(フィリアホール)」開館(青葉台) 「こどもログハウス(ロケットハウス)」開館(美しが丘)
	6年	11月	青葉区制施行、人口245,587人、94,198世帯でスタート 青葉消防署、新庁舎にて業務開始 「美しが丘西地区センター」開館
	7年	3月	青葉土木事務所現庁舎に移転、業務開始
		4月	青葉区総合庁舎落成 「青葉公会堂」、「青葉スポーツセンター」開館
	8年	5月	青葉区役所旧庁舎、ボランティア活動拠点として再利用
	9年	10月	青葉区子ども・家庭支援センターが保健所に開設
		12月	「老人福祉センターユートピア青葉」、「もえぎ野地域ケアプラザ」開設

平成	10年	3月	東名高速道路、「横浜青葉インターチェンジ」開通
		9月	「奈良地域ケアプラザ」開設
	11年	5月	「青葉台コミュニティハウス」開館
		7月	「横浜地方法務局青葉出張所」開設(川和出張所から移転)
		11月	青葉区制5周年
		12月	「さつきが丘地域ケアプラザ」開設
	12年	3月	「横浜青葉スポーツ広場」開設 こどもの国線通動線化同時に恩田駅開業
		4月	「奈良地区センター」開館
	13年	2月	「大場みずすが丘地区センター」開館
		11月	「美しが丘地域ケアプラザ」開設 資源循環局青葉事務所開設
	14年	1月	「大場地域ケアプラザ」開設
		7月	「青葉の風」(中途障がい者地域活動センター)開設
	16年	1月	「鴨志田地域ケアプラザ」開設
		11月	青葉区制10周年
	17年	3月	青葉区区民交流センター「田奈ステーション」開設
		4月	青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」開設
		10月	「アートフォーラムあざみ野」開館
	19年	4月	「横浜市立黒須田小学校」開校
		5月	人口30万人に到達 「まちのルールづくり相談センター」開設
		6月	「みたけ台コミュニティハウス」開館
	20年	11月	「ピオラ市が尾地域ケアプラザ」開設
	21年	4月	青葉区マスコット制定・谷本公園一部開園
		11月	青葉区制15周年
	22年	1月	「区内にキャンパスを有する6つの大学との連携・協力に関する協定」の締結
	23年	3月	「あおば地域活動ホームすてっぷ・青葉台地域ケアプラザ」開設
		4月	「横浜市立あかね台中学校」開校
		7月	「青葉台消防出張所」開所
		8月	青葉区地域子育て支援拠点「ラフル」開設
		12月	「奈良消防出張所」開所
	24年	1月	「恩田地域ケアプラザ」開設
	25年	3月	「たまプラザ地域ケアプラザ」開設
		4月	「横浜市立美しが丘西小学校」開校
	26年	11月	青葉区制20周年
		12月	「青葉スポーツプラザ」開設
	28年	1月	「荏田西コミュニティハウス」開館
		12月	「すすき野地域ケアプラザ」開設
	30年	3月	青葉区地域子育て支援拠点「ラフル」サテライト開設
		8月	「区民活動支援センター」青葉区役所内へ移転
令和	元年	5月	「荏田コミュニティハウス」開館
		11月	青葉区制25周年



青葉区長賞



横浜美術大学賞

平成30年度フォトジェニック青葉 フォトコンテスト受賞作品

青葉区制25周年記念誌

発行日 / 令和元年 10月21日

発行元 / 青葉区役所地域振興課

横浜市青葉区市ケ尾町 31-4 青葉区役所地域振興課地域活動係

TEL.045-978-2291・2 FAX.045-978-2413

デザイン・印刷会社 / 山王印刷株式会社